

神山復生病院創立 135 年・岩下壯一神父生誕 135 年記念

岩下壯一神父特別展

令和6年5月16日～令和7年3月31日



- ・神山復生病院は、フランス人宣教師テストウイド神父によって明治22年5月に設立されましたが、同じ年の9月に岩下壯一神父が誕生しました。
- ・明治以降の日本カトリックを代表する神学者・哲学者・思想家です。
- ・1925年欧州ベネチアにて叙階。
- ・1930年神山復生病院6代院長に就任。医術と信仰を両立させ病院として発展させました。患者からは親しみを込め「親父」と呼ばれていました。病院の業務の他、出版活動、神学校での講義など超多忙で過酷な日々を送りました。
- ・1940年院長を辞任、理事長となりました。興亜院の要請を受け、中国視察中に病を得て帰国。12月3日復生病院にて帰天されました。(享年51歳)



神山復生病院に残された、写真や書籍などの資料から、岩下壯一神父の生涯と神山復生病院や日本のカトリックに果たした役割を紹介します。